

スタッフ紹介!

新しい仲間をご紹介します



建設部 浅水です。

9月に入社しました浅水です。生まれも育ちも北海道ですが、千葉県で数年建設業の仕事をしてきたせいか、暑さには慣れましたが、寒さには弱くなったようで、ヒートテックが欠かせない今日この頃です。現在は、資格取得に向けて、勉強の日々です。現場でも新たに経験することが多い毎日、新鮮ではありますが、早くいろいろなことを吸収し、一人前になれるよう努めています。この仕事を志した時のことを忘れず、その気持ちを維持できるよう、成長していければと思っています。



建設部 新谷です。

令和2年10月より入社させていただきました。以前から建築やインテリアが好きで興味はありましたが、この業界では経験がないにもかかわらずこうしてチャンスをいただけたことに感謝しています。現在はツイッターやインスタなどSNS広報関連や、得意の英語を活かして海外のお客様の担当をさせていただいております。今後はVR作成やインテリアコーディネーターの資格等も取得し、お客様がずっと笑顔で暮らせる快適な空間づくりのお手伝いに携われるように頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

夢あふれる卒業コンペをお手伝い!

今年も未来創造高校で、「北海道建築士事務所協会小樽市支部」主催の卒業コンペの事前授業のお手伝いをしてきました。

テーマは、「レトロな街おたるにふさわしい建物」ということなので、「小樽にふさわしい建物とは?」といった内容で、景観などについての解説を交えて講義を行いました。

例年ですと、旧日本郵船や日銀などの施設を巡りながらの授業となりますが、今年はコロナの影響で、実際の建物を目にすることなく、講義だけで教えていくということとなり、少々苦労しました。

設計の建設地は、生徒が市内の好きな場所に自由に計画できますが、コンペの審査をしているのも思うのは、なんでその場所を選んだのか?だからこういう建物になったんですという建設地の特性、特徴を踏まえて考えられるようになったら個性が出るのではと考えています。

余談ではありますが、弊社所有の旧石原裕次郎記念館の跡地を計画地に考えている生徒もいるそうなので、どんな作品ができるのかと、完成を楽しみにしています!



講義風景

熱弁をふるう高井講師

“インスタ”・“ツイッター” 始めました!

最新情報や暮らしに役立つ情報を随時アップしていきますので、是非イネやフォローお願いします。QRコードを読み込むか、“saijosangyo”で検索して見つけてください。

Instagram QR Code: SAIJOSANGYO

Twitter QR Code: 是非イネやフォロー...

クリスマスプレゼント付 アンケート!

いつも弊社の広報誌【JOYパートナーズ】をお手に取っていただき、ありがとうございます。今回は紙媒体の誌面を手にとっていただいているお客様に、WEB上の記事をご紹介します内容になっていることから、そうした企画に対するご意見を頂きたく、アンケートへのご回答をお願いいたします。西条産業が70周年を迎えた節目の企画でもございますので、アンケートにお答えいただいた方から抽選で3名様に、パナソニック電気圧力鍋・シャープ加湿空気清浄器など、自宅ライフが楽しくなるプレゼントをご用意いたしました。また、ダブルチャンスとして外れた方からさらに抽選で、10名様に2,500円分のクオカードをお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

参加方法

スマホでQRコードを読み込むか、GoogleやYahoo!などの検索エンジンに「西条産業」と入力し、クリック!
弊社ホームページの【WEB JOYパートナーズ】に入ると、「JOYパートナーズアンケート」のバナーがありますので、クリックしてご参加ください。

編集後記

本誌は現編集委員にとって最後の発行となりました。コロナ禍の今、非接触、リモートワークに加え、脱ハンコなんてキーワードまでも飛び交う世の中になり、情報の伝え方、受け取り方は大きく変化しています。そこで、本誌も紙媒体とWEBサイトの融合にチャレンジします。新時代の社内報、広報誌の在り方は、次期編集メンバーが試行錯誤を重ねて考え抜きますので、温かくお見守りいただけると幸いです。 記:小山

JOY vol.25 パートナーズ

発行日: 令和2年12月吉日 編集・発行: 西条産業株式会社



西条産業株式会社 代表取締役 西条 文雪

昭和25年に創業してから、早いもので70年が経過しました。2020年は年初から新型コロナウイルスの感染拡大が起こり、業界はもちろん、市民生活においても多大な損害を被ることになったわけですが、お蔭様でわが社は永年の歴史と伝統の中で培われた信頼と実績、なによりお客様の支えがあってこの局面を乗り越えることが出来ました。

さらにこれからの100周年に向けて全社員一致団結して71年目を歩み始めたところです。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



築港工場



銭函工場



札幌支店

創立70年をこえて、これからも

住宅関連補助制度を利用したリフォームについてもお気軽にご相談ください

お問い合わせ先: 建設部 0134-25-5015

JOYハウスのイベントやお知らせ情報を随時更新中!

facebook 西条産業 いいね! もご覧下さい! https://www.facebook.com/saijosangyo

西條 なひと

クローズアップ

★建設部★ [リフォーム担当]

建設部では、工場や事務所などの一般建築や住宅建設のほか、公共建築の施工なども手掛けています。その他にあまり知られていないかもしれませんが、小さな修繕からリフォームまで幅広くお受けしております。今回はそんなリフォームなどを担当する西村と坂本の仕事をご紹介します！

西條の社員は役員を含めておおよそ100名！
総務経理部、商事部、建設部、ハウス部の4部門からなり、資材販売、プレハブ、一般建築から住宅建設まで幅広い分野の営業をしていますが、本号ではこれらの業務スタッフにスポットをあてご紹介させていただきます。

N邸のリフォーム



居間、台所がそれぞれ壁に囲まれており、上部には部屋があったので、各々の部屋が狭く、少々窮屈な空間となっています。

after



居間と台所の壁と天井を撤去し、梁を表しにした吹き抜け空間に改修。広々としたゆとりある空間に変貌しました。



リフォーム担当
西村 秀一

現在お住まいの建物を長持ちさせる為の定期的な修繕、使い勝手向上の為のリフォームは大事な事だと思います。

そんな時は私達にご相談いただければ、どんな小さな事でも、親身になって対応させていただきます。

お客様の「要望」を伺います
温かな口調とこの優しい笑顔で



リフォーム担当
坂本 桂一

住宅改修をメインとしておりますが、事務所・店舗などの改修工事もお受けいたします。内外装工事や内壁の穴の補修など大小問わずご相談頂ければ幸いです。

まだまだ未熟ではございますが、誠心誠意対応させていただきます。

休日の家族キャンプにはまってる、ワールドなパパなのです！



最善をご提案いたします。

お客様の暮らしを考えた、

社長から ひと言



人口減少・少子化により新築の需要環境は厳しくなっています。欧米ではリフォームやリノベーションによって、愛着を持って、古いものを大切に、長く住み続ける文化もありますが、わが社も新しい分野として今後伸ばしていこうとスタッフは張り切っています。

快適な住まいのご提案を心を込めてさせていただきますのでどんな小さなことでもご用命ください。

今回は建設部の「リフォームなひと」に光をあて、お仕事とそこに携わる社員の素顔をご紹介いたしました。今後は他の部門、社員のご紹介を弊社のウェブサイトにて継続する予定です。

スマホでQRコードを読み込むか、GoogleやYahoo!などの検索エンジンに「西條産業」と入力し、クリック！
弊社ホームページに【WEB JOYパートナーズ】のパナーがありますのでクリックしてください。

公開ウェブ版「JOYパートナーズ」URLとQRコード

<http://saijosangyo.co.jp/joypartner/>



これからも元氣な西條産業をみなさまに感じていただき、お役に立てるプロ集団として歩を進めて参ります。

銭函工場改造計画

銭函工場は、お客様から受注したプレハブとユニットハウスの部材を製作する工場です。この工場では整備・保管し、製作される部材は数千種類にも及び、管理するのも大きな苦勞を伴います。そこで銭函工場では2019年8月から現在まで、北海道機械工業会様の協力を得て、工場の生産効率アップに取り組んでおります。今回はその一端をご紹介します。

2019年8月27日

仮置きされた部材

before



明確な搬入路がなく、作業を中断しなければ搬入できない作業場

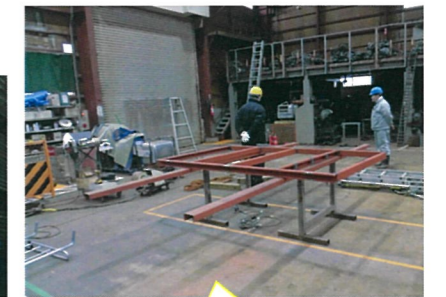


2019年度は工場内の整備に取り組みました。

after



2019年12月17日



保管場所と通路もマーキングされ、在庫の種類や量も目視可能に

サイズ別ラックで整然と保管された部材

搬入路と作業エリアがはっきり区分され、作業効率と安全性がアップした

銭函工場はプレハブとユニットハウスの部材を製作・整備する工場です。屋根や鉄骨柱などの鉄チームと、木材パネル製作を行うパネルチームに分かれ、それぞれのエキスパートが働いています。

部材は全て一から作るのではなく、解体されて工場に戻って来た部材の整備、保管も同時に行わなければならない、新しい建物としての在庫準備と、解体された建物の入庫受入が重なることが多く、「とりあえず仮置きして、作業が終わったら運ぼう・・・」という感じで、不効率な後回し作業が発生します。

そこで、入庫時の動線や保管場所、作業場所をマーキングして明確にし、同時に保管基準やサイズ別に保管用ラックを用意することで、受入から保管までの流れをスムーズにしたほか、場内運搬ルートと作業エリアを安全に分けることも実施したことで、作業効率も場内運搬や保管に要する時間も、大幅に改善されました。

現在は数千種類にも上る部材を使用頻度別に分類し、合理的に廃棄して保管効率を高める検討をしています。

2021年2月には成果発表会があり、当社の取組みも全道で発表させていただきます。

